

令和7年度障害福祉サービス事業所管理者及び 障害児(者)施設長会議

農林部 森づくり課 木材利用推進・林業支援担当
技師 金井 るみ

(1) 障害者施設の木造化・木質化のメリットと補助金について

施設を木造化・木質化するメリット＜例＞

疲労感を緩和する効果

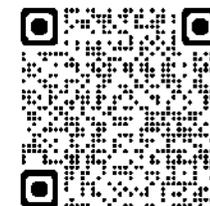
湿度を調整する効果

リラックス・癒しの効果

免疫力アップの効果

モチベーション・積極性を
高める効果

さらに気になる方はこちらへ



内装木質化した建物事例とその効果
(林野庁HP)

(1) 障害者施設の木造化・木質化のメリットと補助金について

でも

木造化・木質化するとコストが高くなる…？



(1) 障害者施設の木造化・木質化のメリットと補助金について

コストは他の構造より抑えられる場合があります！

例

補助制度の活用



次スライドで
紹介

技術的な知識



埼玉県木造建築技術
アドバイザー制度

(参考) 木造建築のコストの事例について

- 木造建築物は**躯体が軽量**になることから**基礎工事のコスト面で優位性**を発揮。平屋や2階建ての中大規模建築物のみならず、3階建て建築物でも、**木造の方が他構造より低コスト**となる事例が見られる。

■ 平屋建てドラッグストア

- 木造の方が鉄骨造より16%低コスト** ※躯体・基礎工事

	木造	S造	木/S
計	57,800円/m ²	68,897円/m ²	0.84
躯体工事 (基礎以外)	22,328円/m ²	24,834円/m ²	0.90
基礎工事 (基礎・地盤改良費)	35,472円/m ²	44,063円/m ²	0.81

岐阜県が公表している「非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集」(令和4年3月)を元に林野庁が作成
 ※実際に建設された鉄骨造平屋建て1158m²のドラッグストアについて、木造に置き換えて設計した場合の躯体工事費のコストを比較したもの
 ※躯体工事の費用であり、内装、仕上げ等の工事費は含まれていない

■ 2階建て小学校

- 木造の方が鉄筋コンクリート造より9%低コスト**

	木造	R C造	木/RC
計	119,195円/m ²	131,391円/m ²	0.91
躯体・その他 工事	106,271円/m ²	100,390円/m ²	1.06
杭・地盤改良等 (仮設・土工込)	12,924円/m ²	31,001円/m ²	0.42

木造公共建築物誘導経費支援事業報告書(H30 木を活かす建築推進協議会)の「木造勾配天井」の場合
 ※実在する鉄筋コンクリート造(RC造)の2階建て小学校について、木造に置き換えた場合の構造設計・積算を行い、m²単価のコストを比較

■ 3階建て集合住宅

- 木造の方が鉄筋コンクリート造より3%低コスト**

	木造	R C造	木/RC
計	241,523円/m ²	248,876円/m ²	0.97
躯体・ その他工事 (内部工事含む)	222,169円/m ²	197,187円/m ²	1.13
基礎工事	19,354円/m ²	51,689円/m ²	0.37

(公財)日本住宅・木材技術センターが令和7年3月31日に公表した「CLT実証事業の事例に関するコスト分析報告」を元に林野庁が作成
 ※実際に建築した3階建ての木造集合住宅(377.5m²:CLTパネル工法)にうち、同一プランで鉄筋コンクリート造とした場合の積算を行い、コストを比較

■ 3階建て中規模ビル

- 木造は鉄骨造より4%程度の増**

「中規模ビル3階建て事務所の木造化標準モデル」(増補版)
 (日本住宅・木材技術センター)
 ※3階建て事務所の木造化標準モデルの建設コストと、同等規模の鉄骨造モデルについて、概算の建設コストを比較

(1) 障害者施設の木造化・木質化のメリットと補助金について

林業・木材産業構造改革事業

公共建築物の木造化・内装木質化に係る費用の一部を補助します

	木造化	内装木質化
補助率	15% ※条件を満たせば1/2	3.75%
要件(例)	県産材を一定数量以上活用する必要あり	
財源	国庫補助金(林野庁所管)	
窓口	埼玉県農林部森づくり課 木材利用推進・林業支援担当 TEL:048-830-4318 メール: a4300-11@pref.saitama.lg.jp	

その他の補助金の情報は林野庁HPへ



建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧
(林野庁HP)

(2) 埼玉県木造建築技術アドバイザー制度について

建築物の木造化・木質化に取り組もうとする地方公共団体及び民間事業者を、
県が認定したアドバイザーが技術的助言や情報提供により支援します

Point

相談費用は**無料**です！

Point

計画から設計、施工、維持管理まで **幅広く疑問解消を支援します！**

<例1>

埼玉県産木材を上手に調達する
方法はある？

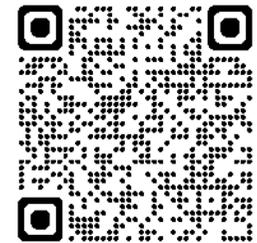
<例2>

コストを抑えた木造設計は
可能？

<例3>

木造・木質化のメンテナンスの
ポイントは？

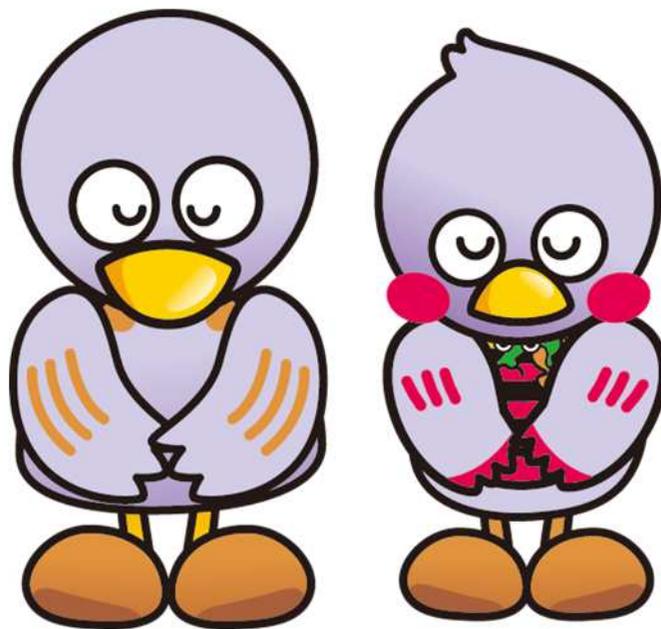
詳細はこちらへ



木造建築技術アドバイザーについて
(県HP)

／ 県森づくり課では、木造化・木質化をサポートします ／

ご清聴ありがとうございました



「建築物に木材を使うと、どんな良いことがあるの？」

— 「建築物への木材利用に係る評価ガイドンス」のご紹介 —

建築物の木造化・内装木質化を検討したものの、組織内や金融機関などから「建築物に木材を使うとどのような良いことがあるのか」などと問われて、十分な理解を得られなかったことはありませんか？

これに対して、林野庁が作成した『建築物への木材利用に係る評価ガイドンス』では、建築物への木材利用の効果を整理し、各効果の評価項目・評価方法を示しています。

本ガイドンスを使えば、誰でも建築物への木材利用の意義を体系立てて説明できます。是非ご利用ください。



① 木材利用は、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献します

建築物のエンボディドカーボンの削減に貢献します

- 木材は、製造時のCO₂排出量が鉄やコンクリート等よりも比較的小さいため、木材を使えば、建築物のライフサイクル全体のうち、資材製造段階などの排出量（エンボディドカーボン）を削減できます。

建築物に炭素を貯蔵します

- 木材は、森林が吸収したCO₂を炭素として貯蔵するため、建築物に使うことで、長期間にわたり炭素を貯蔵できます。

② 木材利用は、持続可能な資源の利用に貢献します

「デュー・デリジェンス」の実施により、森林への悪影響等を回避できます

- 利用する木材が、持続可能な方法で生産されたことを確認（デュー・デリジェンスを実施）することで、森林の違法伐採や森林破壊などのリスクを回避できます。

森林資源の活用により、地域経済の活性化に貢献します

- 国内・地域で生産された木材を使えば、林業・木材産業の発展を通じて、地域の社会経済の維持・活性化に貢献できます。

サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現に貢献します

- 木材は、①再生可能な天然素材であり、②CO₂排出削減と炭素貯蔵に貢献し、③バイオマスエネルギーとしても利用可能な資源です。

③ 木材利用は、快適な空間の実現に貢献します

内装木質化により、利用者の心身面、生産性などに良好な効果をもたらします

- 建築物の内装を木質化することは、心理面、身体面、衛生面、学習・生育面、生産性などに良好な効果があることが確認されています。

評価分野1 カーボンニュートラルへの貢献

評価項目 ① エンボディドカーボンの削減

- ライフサイクルアセスメント(LCA)により算定した、建築物に利用した木材の製品製造に係る温室効果ガス(GHG)の排出量を示します。

エンボディドカーボン (使用段階(運用時) (オペレーショナルカーボン))

資材製造段階 | 施工段階 | 使用段階(改修等) | 解体段階

GHG + GHG + GHG = 製造に係る排出量 (各段階の排出量を積み上げて算定)

原材料の調達 (丸太の生産・搬出) | 工場への輸送 | 製造 | 木材製品

評価項目 ② 炭素の貯蔵

- 林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づき炭素貯蔵量を示します。

炭素貯蔵量 [t-CO₂]

= 材積 × 密度 × 炭素含有率 × $\frac{44}{12}$ (換算係数)

ガイドラインの詳細はこちらから ▶ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/miruka.html>

評価分野2 持続可能な資源の利用

評価項目 ① 持続可能な木材の調達 (デュー・デリジェンスの実施)

- 木材について、以下を確認したことを示します。

- クリーンウッド法に基づく合法性と、木材が産出された森林の伐採後の更新の担保を確認できること
- サプライチェーンにおいて「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」を踏まえた人権尊重の取組が実施されていること

又は

森林認証制度に基づく認証材であること

評価項目 ② 森林資源の活用による地域貢献

- 地域産材・国産材の利用状況を示します。
- 地域産材の活用を目的とした、建築物木材利用促進協定等を締結していることを示します。
- 木材利用による地域経済への波及効果を定量的に示します。

地域産材の利用量を定量的に示す

地域産材の活用を目的とした建築物木材利用促進協定の締結

地域産材の利用による経済波及効果を説明

評価項目 ③ サーキュラーエコノミーへの貢献

- サーキュラーエコノミー（循環経済）の観点から、木材は再生可能な資源として評価されるものであることを示します。
- 循環性を意識した取組(※)の実施について示します。

(※)・木材利用による再生不可能な資源の利用削減
・再利用木材（木質ボード等）の利用
・解体時の環境負荷を低減する設計の採用 など

評価分野3 快適空間の実現

評価項目 内装木質化による心身面、生産性等への効果

- 建築物の用途等に応じて、訴求度が高い内装木質化の効果を示します。

良い眠りを引き出す効果 | 作業性・業務効率を高める効果 | リラックス・癒し効果

